

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (株式会社ミクロ発條)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

目 番 号	テ グ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			【企業行動規範】(2.1差別の禁止)雇用・教育・昇進・登用・福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、相談窓口を総務部に設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			【企業行動規範】(2.4職場環境)および「就業規則」(ハラスメント管理規定)によりハラスメント防止のルールを定め、相談窓口を総務部に設置し、定期研修を実施している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			【就業規則】労働基準法等の改正内容・時間外労働実績を経営者を含め周知共有している ・長時間労働抑制のため生産性の改善・時間管理等を行っている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			【企業行動規範】(2.1差別の禁止)外国人を正規雇用し、適切な処遇や労働環境及び生活環境の整備・支援を行っている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			安全衛生委員会において、各部門の活動内容を報告・協議し労働環境の整備・改善に取り組んでいる。また、リスクアセスメントの実施によりすべての部門でのリスクの評価と発生予防に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			【就業規則】社員のメンタル面のサポートとして、ストレスチェックを定期的に行いメンタル状態を確認するとともに、産業医に気軽に相談できる体制を整えている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			【就業規則】多様な人材がそれぞれの事情の中で活躍できるよう、職場環境や制度を整備している(育児介護者向け制度、障がい者雇用、延長雇用等)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			新入社員、専門教育などの各種研修ほか、技能検定など資格取得の補助など自己啓発支援制度も設け、人材の育成に取り組んでいる				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			【就業規則】人事考課、賃金規程等を設け、規程に則って公正な待遇を整備している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			社員の健康増進のための福利厚生をさらに整備し、健康経営優良法人認定取得を目指している			3					8									
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物について分別を行い、処理についてはマニフェストに沿った適切な管理を実施している											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			エネルギー使用量等を測定し二酸化炭素排出量の集計による現状把握を行っている							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			二酸化炭素排出量の実績把握を行い、省エネルギー設備などを導入など排出量を抑制する取り組みを進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用を禁止するなど取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （果などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・生産活動が外部に及ぼす環境影響を監視し、有害な活動の予防、および有益な活動の促進に取り組んでいる。 ・危険物廃液漏洩による土壌や水質汚染の防止取り組み、定期的に水質測定を実施し、状況を確認している。						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・CSR推進委員会を設置し、分別ゴミの搬出、紙資源の再利用などに取り組んでいる ・廃棄物の削減、3Rの推進に取り組んでいる											13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・水の使用量を管理し、節水に取り組んでいる ・諏訪湖の浄化や地域河川のごみ拾い等のボランティアを通して、水資源の維持に取り組む						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			2005年にISO14001認証を取得し、以降継続して外部認証を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			自社HPで環境方針、CSR方針等を公表している。													12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			二酸化炭素排出削減のための施策として、CO2フリー電力への段階的移行など、取り組みを始めている							7.2							13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			廃棄物の減少可能な原材料調達など、持続的利用に配慮した資源の調達への取り組みを検討している													12.2	13	14	15	
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			【企業行動規範】(1.9贈収賄の禁止)にて従業員規律を定め、社内浸透を図っている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			【企業行動規範】(1.5公正な競争)にて従業員規律を定め、社内浸透を図っている																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			【企業行動規範】(1.11知的財産)および「固有技術管理規定」にて、特許・商標等知的財産権の取得・管理を行なっている								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			【就業規則】(情報管理規定)にて個人情報の取扱に関するルールを定めるとともに、個人情報の保護について管理している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			自社製品のサプライチェーンを把握し、顧客要求に応じて購入品に対する紛争鉱物使用有無を仕入先へ確認し、調査を実施している																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			サプライヤー等と企業行動規範・CSR推進についての情報交換を行い、理解を得る取り組みを行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
働きがいのある職場環境への取り組み		○新本社工場建設により、社員食堂の運営・エントランスにカフェの設置・休養室完備等、働きやすい環境を整備している。								8.5									
C S R、S D G sに関連する委員会活動推進・社内啓蒙活動		・C S R委員会を月1回定期開催し、社員が中心となり様々なテーマで意見交換、チーム活動に取り組んでいる ・社屋地域周辺の清掃や、諏訪湖沿岸のゴミ拾い、フードドライブへの参画など地域貢献活動も徐々に定着している。				4													

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定